

有限会社石川テント

折板屋根向け外断熱・遮熱の独自工法 「ルーフシェード」の改良による事業拡大

折板屋根向け外断熱・遮熱工法「ルーフシェード」の施工方法の改良に伴い「新型取付金物の試作と金型の開発」により①強度向上②施工精度のばらつき解消③構成部材点数削減を行い、顧客満足度向上、販売価格低減及び製品の一層の普及事業を展開する。

事業取組みの経緯

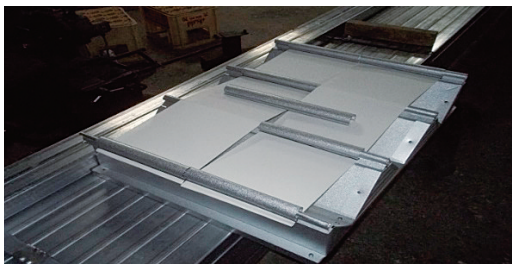
屋根向け外遮熱工法「ルーフシェード」は、工場・倉庫・店舗・事務所等のあらゆる建物に採用されている「金属製折板屋根」の上に専用ブラケットや専用フレームを設置し、空間を保ちながら細幅の遮熱シートを張ることにより夏場の室温上昇を防ぎ、エアコンの消費電力量削減や作業環境の改善に貢献可能な製品である。

今後、節電意識が一層高まる中、工法の問題点である強度不足や施工精度のばらつきを解消する一方、構成部材点数を削減することで販売価格を抑制し、販売エリアの拡大及び新規ユーザーの確保により、より一層の普及につなげることとした。

実施内容

従来工法の問題点は、シートの固定ピッチが広くなり、暴風や積雪によりシートが伸び切ったり破損したりする事例が発生したことである。

施工工程が多く夏場の長時間作業は困難であり、熟練度によって施工精度にもばらつきが見られる。部材点数が多く、在庫管理や発注も難しく、これらの問題点を解決するため、新工法としてパイプにビニールシート等を挟み込んで固定する通称「パッカー」の様な部品を作り、折板屋根のハゼの部分（頂点部）に直接シートを挟み込みながら固定することとした。



新工法のデモンストレーション

事業取組みの成果

本事業で試作を重ね、「パッカー」の素材の選定や強度試験を行いながら新工法を確立した。

その結果として、部品点数の減少で施工方法が簡素化され、施工職人に特殊技能を要求されることもなく、取扱業者も多様化するとともに販売網も拡大した。2mピッチで固定化していたシートが50cmピッチの固定になるため、シートにかかる負担が格段に軽減化されるとともに強度が増し、雪国や、台風が頻繁に通過する沖縄諸島等へも設置が可能となった。



【新工法】 新旧工法の違い 【旧工法】

また、部品点数の減少や施工の簡素化により販売価格が大幅に低減したことで、中小零細企業での採用拡大も期待している。



新工法による設置事例

今後の活動予定

販売代理店を通じたさらなる商圏の拡大を目指していく一方で、作業者の労働環境の改善や省エネ効果の発揮にも貢献していきたい。



有限会社石川テント

■代表者／取締役 石川 浩

■本社住所／〒799-0113 愛媛県四国中央市妻鳥町2935-4

■TEL／0896-56-5042

■FAX／0896-58-7991

■URL／http://www.i-tent.com

■メール（代表）／ishikawa@i-tent.com

■設立年月日／平成1年4月

■資本金額／500万円

■従業員数／3名

■業 種／帆布製品製造業

■事業拠点／本社工場 愛媛県四国中央市妻鳥町2935-4

企業概要

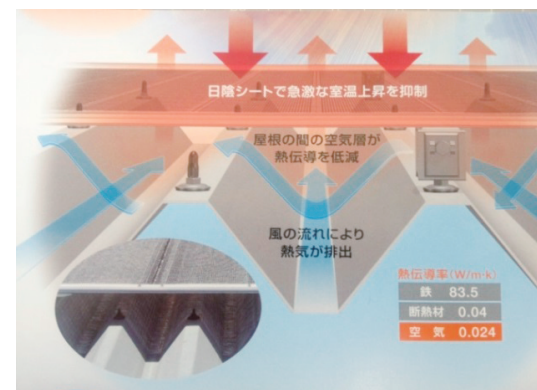
大型テント倉庫から個人・店舗向けオーニング・ファーリングシェード、工場向け防虫・防塵対策、遮熱対策施工を主業務とするテント業者で、四国や瀬戸内海沿岸地域を中心に各種工場や一般家庭を対象として、製品手配から施工、アフターサービスを手掛けている。

大阪府のゴールド・エコテック賞を受賞した。

主要取引先

大王製紙株式会社、愛媛製紙株式会社、ユニ・チャーム株式会社、福助工業株式会社 他

主要商品



屋根向け遮熱製品
「ルーフシェード」



シートシャッター
「happy gate門番」

主要設備

ウェルダー、ミシン、溶接機、天井クレーン

担当者	取締役 石川 浩
連絡先	0896-56-5042
連絡先E-mail	ishikawa@i-tent.com